

自分の中での課題を整理することが出来ました。地域で活動していく上で、今日一緒に会に参加出来た多職種の方と明日から連絡をもって仕事が出来ることが今日の収穫でした。

(看護師)

地域包括支援センターの役割、実際に行われている内容などあらためて確認、理解出来た。これから一緒にがんばれたらと思いました。

(ケアマネ)

包括支援センターの役割が良く分かりました。境港市での事業への参加はとてもよくわかりました。(ケアマネ)

山積みする課題に対しては各職種による横の連携をつよくすることが大切であると再認識しました。(医師)

高齢者が楽しく住み慣れた所で暮らせるように、地域で支えるのは理想だが、、、。委託ケアマネと包括がしっかり連携できる場合とそうでない時がある。住みやすい地域作りを頑張っている包括と一緒にみんなが声をあげて市、県、国に言っていかなければならないと思いました。(ケアマネ)

現場も大変です。(介護員)

施設に勤務し、実際に包括との関わりで仕事をしているにも関わらず、包括の業務、おかれている現状をよくわかっていなかった。他職種の方々とディスカッションで学ぶべきことが非常に多い有意義な会でした。「死ぬこと」について高齢者の方は意外とあっさり答えられると聞き(Drより)先日、自分の受けた看取りの研修で自分自身に遺書を書いたことを思い出し、私自身も40数年生き、まだ心残りがあるが、その人なりの充実感で80になっ

ても90になってもまだ「死ねん」と思われる方もいると思い、人生についても考えられるひと時でした。(歯科衛生士)

グループディスカッションの中での「健康に生きるのではなく楽しく生きる」との言葉が印象的でした。包括の方が日々取組まれている姿勢が本当に良く伝わってきました。色々な方の意見、考えが聞け有意義な時間を過ごせました。

(ケアマネ)

包括に対し、色々な職種の話が聞け、勉強になりました。(看護師)

地域包括支援センターの現状が良く分かった。(医師)

いろいろな話が聞けて良かった。(介護福祉士)

各包括支援センターの活動内容について分かった。地域包括ケアって何だろう?いつも疑問に思うし、悩んでいる。(社会福祉士)

初めて参加したが、地域包括支援センターの役割が少しいが理解でき良い勉強になった。自分自身がそうであったように、認知されてなかった部分も多いと思うので、地域が人々に認知され、身近な存在となるようにしていかなければならないと思った。(医師)

地域包括支援センターの役割を理解できていなかったためになりました。今後勉強して知識を増やしていかなければいけない。実際に患者を診る立場から言わせてもらおうと地域包括支援センターがまだ浸透していないと思う。(医師)

地域包括支援センターについて、全くと言っていいほど知識がありませんでした。今日いろいろ

るな問題点や、みなさんの頑張りを知る事ができ、歯科衛生士として何かできる事があればと思っています。(歯科衛生士)

さまざまな職種の方々と本音の意見交換ができてとても有意義な時間を過ごすことができました。(社会福祉士)

もう少し本音での話がしたかったです。(ケアマネ)

久しぶりに参加しました。夜なのであまり参加できていませんが、勉強になりました。(ケアマネ)

地域包括の現状が聞けてよかった。(社会福祉士)

今回はじめて参加で、皆さんの言葉の理解と内容の理解をするのに必死で聞くだけで必死でした。又、このディスカッションに入れる知識のないことが判明したことが発見だったかも知れません。(医師)

今回の研修で包括の大変さを改めて知りました。包括に対して思う事は多々あるけど、協力していきたいと思いました。(ケアマネ)

今、介護予防事業を見て、健康に生活することが地域で生活すること、生きがいにつながるのだと考えていたが、死の方に目を向けて、どのように生きていくのかの手助けを行っていく事業だと新たに目的を見つけることができました。今後、ここで出た意見を参考にしていきたいです。(相談員)

初めて参加させていただきました。支援センター(米子市以外)の現状も知る事ができてよかったです。看護予防に対する私自身の困ったこ

とも話すことができました。同じ事で困っているんだと思いました。(ケアマネ)

地域において、介護保険サービスや包括支援センターについて知ろうとしない、利用、活用したくないといった高齢者も当然おられます。いざという時に近所付き合いもあまりなかったり、関係機関も把握していない世帯に対するフォローが課題かと思います。つかず、離れず、見守りのできる体制があれば良いのですが、包括支援センターのエリアよりもっと小さなエリア、ブロックでの高齢者の生活把握が必要かとも思います。(社会福祉士)

様々な職種の方から、包括に対するイメージ役割等の話を聞き、まだまだ認知されていない点が多いことが分かった。また、他の包括がどのような工夫をしているかを聞くことができてよかった。(相談員)

地域に入るということ、今の高齢者の意識の根底に「サービスを受ける」ということがはずかしいこと悪いこと?という意識がある。高齢者と同じ目線で地域の人からの気づきを地域の人でひろって伝えていくことが横のつながりの始まりだと強く感じました。「してあげる」のではなく「させて頂く」という目線、どこのそれぞれ現場で同じことが言えるのでは?利用者、高齢者目線に立つこと原点だと感じました。(介護福祉士)

包括支援センターにより、役割がまちまちなのおどろきました。地域に入り込む事が困難との事でした。包括支援センターが遠い存在に感じるとの意見もあった。(ケアマネ)

地域包括支援センターの役割がよく理解出来た。発表も本音の部分が少なかったのを除けばよかった。(医師)

各包括によって相談対応に温度差があることについて、市や県に「包括についての目安箱」があればというご意見がありました。米子市では委託というシステムで法人が「やめる」と言うと市が困るという図式ができてしまっている感があるように思います。そこを気にしてもらうことなくご意見を頂けたほうがいいなあと思いました。包括職員としては、現場は大変なもんです。いろいろありますが、やりがいもって頑張ってるつもりです。多くの方々の連携を頂きたいと思いました。(社会福祉士)

とても参考になりました。(今までのテーマで一番良かったかも・・・)(医師)

まだ包括支援センターが十分に理解出来ません。(薬剤師)

包括はまず本音を言ってほしい。できなければ居宅に頼めばいいという考えはやめてください。(ケアマネ)

包括が抱えている問題を知る事ができ、又そこで働くスタッフの本音も出て勉強になりました。(ケアマネ)

予防に国がお金をかけていない！そのしわよせが地域にいかないようにできることはしていきたい(包括として)。各立場の人が「でも自分が今できることは何か」考えていくことが大切と感じました。ありがとうございました。(ケアマネ)